



## ASIAN SHIPOWNERS' FORUM

10 Anson Road  
#16-18, International Plaza,  
Singapore 079903  
Tel: (65) 6325 4737 Fax: (65) 6325 4451  
General Email: [information@asf.com.sg](mailto:information@asf.com.sg)  
Website: [www.asianshipowners.org](http://www.asianshipowners.org)

2013年5月21日  
インド・ムンバイ

### 第22回アジア船主フォーラム総会 プレスリリース (日本船主協会事務局試訳)

第22回アジア船主フォーラム (ASF) 総会は、インド船主協会の主催により2013年5月21日にインド・ムンバイで開催された。

第22回 ASF 総会の議長である **Atul Agarwal** インド船主協会会長は、ASF 加盟各船主協会からの出席者を歓迎するとともに、「アジアが国際貿易の牽引役であることにより、アジア海運は今後も国際海運業界において成長し続けるだろう」と述べた。

今次会合において、参加者は、航行安全や海事保安に関わる問題、さらには環境問題といった、海運業界が現在直面する主要課題について議論した。

#### 海賊問題

ASF は海賊事件に関する最近の報告について意見交換し、東アフリカ沖の海賊行為の勢いは弱まった様相であることに留意しつつも、船主に対し、同海域を航行するには引き続き警戒し、ベスト・マネージメント・プラクティス (BMP4 : 注 1) を利用するよう強く求めた。さらに、ASF は政府およびすべての関係者に対し、引き続き強固な政治的意思をもって問題解決に取り組むよう促した。

注1 : Best Management Practices

国際海運会議所(International Chamber of Shipping : ICS)などの国際海運団体が、ソマリア海賊による被害を防止または最小化するための行動をまとめたもの。2011年8月にBMP4が公表されている。

船員委員会の **Fu Xiangyang** 委員長は、ソマリア海賊によって、未だおよそ62名の船員が本船上または陸上で拘束されていることに鑑み、拘束中の船員が解放されるよう、国際社会が早急に断固たる行動を執るべき必要性に言及した。

ASF は、ここ2年にわたりギニア湾で海賊事件発生数が増加していることに深い憂慮の念を示した。航行安全・環境委員会の **Patrick Phoon** 委員長は、「同海域で海賊事件が依然として増加している中、沿岸国、IMO および国連がこの問題に取り組み、迅速に対応すべきである」と強調した。

## 環境問題

ASF 総会では、IMO 第 65 回海洋環境保護委員会 (MEPC) の中で、バラスト水管理条約の円滑な実施に向けて、実施可能なバラスト水処理装置の適用時期とする総会決議文書が合意されたことを歓迎した。

ASF は、MRV (監視・報告・認証) 制度を含め、GHG の排出を削減するための地域規制に係る最近の議論に対して懸念を表明するとともに、世界的な規制が IMO の権限およびリーダーシップのもとで策定されるよう、国際社会に強く求めるものである。

ASF は、地域的・世界的規制の別を問わず、(GHG 排出量)取引制度に基づく経済的手法 (MBM)には賛成しないことを強調したい。この点に関して、ASF は、IMO が国際海運の利害を尊重し、地域的または一方的な規制の拡散を阻止すべきと強く考える。

## シップリサイクル問題

ASF は、欧州議会が EU のシップリサイクル規則案の課金条項を削除する決定を行ったことを歓迎した。シップリサイクリング委員会の Frank F H Lu 委員長は、「香港条約に基づく国際的な船舶解撤体制がシップリサイクルキャパシティ (解撤能力) を損なうことなく、環境に優しいヤード整備を促す最も早く、かつ確実な方法である」と述べた。

## 運河通航料問題

SHIPPING・エコノミックス・レビュー委員会は、2013 年 5 月 1 日付で実施されたスエズ運河の通航料引き上げと、パナマ運河が企図する同年 10 月 1 日付の通航料引き上げに対し、深い懸念を示した。

同委員会の工藤泰三委員長は、「海運市況が停滞する状況下、両運河庁は世界貿易における公共インフラの担い手として、顧客重視でかつ透明性がある通航料体系の構築や、(将来の通航料に係る) 予測可能性の確保に向け、運河利用者と関係国の声に真摯に耳を傾けるべきである」と述べた。

## 船員の移動の円滑化

ASF は、特にシェンゲン圏 (注 2) 諸国や米国において、ASF メンバーが船員の上陸や乗下船に関する手配上の問題に悩まされていることに留意した。

船員委員会の Fu Xiangyang 委員長は、「ILO や IMO 簡易化委員会において、このような状況の解決に必要な議論を促すべく、ASF は船員の乗下船や上陸の手配に係る問題について具体的な情報の収集を継続していく」と述べた。

(注 2) シェンゲン協定は加盟国相互の通行自由化と手続き簡素化を目的とした共通滞在協定。2013 年 5 月現在で EU 加盟国中 22 カ国と EU 非加盟の 4 カ国が参加。

## ASF の新議長について

日本船主協会会長の芦田昭充氏が ASF の新議長に、韓国船主協会会長の Youn-Jae Lee 氏が同新副議長にそれぞれ選任された。両者の任期は 2013 年 5 月 22 日から次回の ASF 総会 (注 3) までとなっている。

(注 3) 次回の ASF 総会は、日本船主協会の主催により、2014 年 5 月 19 日から 21 日に滋賀県大津市で開催予定。

以上

【問合先】

ASF 事務局長 園田 裕一氏 (Mr Yuichi Sonoda)

電話 : +65-6325 4737

Email : [information@asf.com.sg](mailto:information@asf.com.sg)

Website : [www.asianshipowners.org](http://www.asianshipowners.org)

【ASFについて】

- ・ アジア船主フォーラム (ASF) は、各国・地域船主協会から成る任意組織であり、その目的は、アジア船主業界の利益を促進することである。ASF は、世界商船船腹の約 50%を代表すると推定されている。
- ・ ASF は以下 8 メンバー船協で構成される。
  - オーストラリア船主協会 (ASA)
  - 中国船主協会 (CSA)
  - アセアン船主協会連合 (FASA) \*
  - 香港船主協会 (HKSOA)
  - インド船主協会 (INSA)
  - 日本船主協会 (JSA)
  - 韓国船主協会 (KSA)
  - 台湾船主協会 (NACS)
- ・ アセアン船主協会連合 (FASA)の構成
  - ブライト・ SHIPPING (ブルネイ) (FASA-BSC)
  - フィリピン船主協会 (FASA-FSA)
  - インドネシア船主協会 (FASA-INSA)
  - マレーシア船主協会 (FASA-MSA)
  - ミャンマー・ファイブ・スター・ライン (FASA-MFSL)
  - シンガポール船主協会 (FASA-SSA)
  - タイ船主協会 (FASA-TSA)
  - ベトナム船主協会 (FASA-VSA)
- ・ ASF 総会までの間は、5 つの常任委員会により継続的活動が行われている。
  - 船員委員会 (SC : Seafarers Committee)
  - SHIPPING・エコノミクス・レビュー委員会 (SERC : Shipping Economics Review Committee)
  - 船舶保険・法務委員会 (SILC : Ship Insurance and Liability Committee)
  - 航行安全・環境委員会 (SNEC : Safe Navigation and Environment Committee)
  - シップリサイクリング委員会 (SRC : Ship Recycling Committee)